



日田白山神社の元旦祭

さがえ

市議会だより

2012年1月20日

No.112

12月定例会

主な内容

- 本会議・予算特別委員会の内容… 2^P
- 提出議案と採決結果、賛否表… 3
- 一般質問… 4～8
- 一般質問、議会日誌ほか… 9
- 常任委員会行政視察報告… 10～11
- 市民の声
あらがまち紹介ほか… 12

■発行 寒河江市議会
■編集 市議会だより編集委員会

この市議会だよりの用紙は再生紙を使用しています。

12月定例会

12月定例会は、12月5日から12月15日までの11日間の会期で開催され、人事案件4件、補正予算4件、条例改正3件及び条例制定2件の合計13議案を審議した結果、いずれも原案のとおり同意、可決しました。また、請願3件、陳情1件が採択され、それに伴う意見書提出の議案4件を可決し、意見書は直ちに国の関係機関に送付しました。



議案に対する 主な質疑

一般会計補正予算 (第50号) エンジン

議員 子育て支援センター設置に関する改修について、利用している福祉団体の方々に納得していただける話し合いはされているのか。

答弁 身体障害者福祉協会はじめ、福祉団体との協議で「自由に使える場所を残して欲しい」との要望からほのぼのサロンは残すことでご理解をいただいています。今後も誠意を持って話し合いを続けてまいります。
議員 今回は、人勧について国も県も改定はないが、今後、国が実施した場合、どうするのか。

答弁 その時は、国や県、他市の状況を踏まえながら検討してまいります。

寒河江市浄化槽等設置管理条例の制定について

議員 市町村設置型合併浄化槽整備を進めるうえで国の交付金を受ける採択要件はどうなるのか。

答弁 国の循環型社会形成推進交付金の交付要件は、年間20基以上、又は3年で50基以上設置することとなっています。

予算特別 委員会

主な質疑

一般会計補正予算 (第50号) エンジン

委員 市は東日本大震災や福島第一原発事故で避難してきている方に、市報を届けるというが、12月になっても届いていないことから、信頼を失っている。町会を

通した配布及び郵送による直送は、それぞれいつから何部配布したのか。また、何故このように遅れているのか調査し明らかにして欲しい。

答弁 被災者支援推進本部で市報配布については町会長連合会を通じて各町会から配布すべくお願いし、11月20日号から配布しています。ご指摘については、推進本部で実態調査し対応したいと思えます。

委員 9月議会で豪雨による農道災害復旧工事費の補正予算が可決したのに、未だに着工されていない。現場の職員が足りないのではないか。遅れの原因を明らかにして欲しい。

答弁 入札は先般終わっています。現場に入っています。せんが、十分に検討して対応したいと思えます。

委員 除雪費は当初予算で間に合うと見通しているのか。

答弁 平年並みの費用を当初予算に計上しています。大雪で不足する場合は、その時点で検討します。

委員 学校給食調理業務民間委託の入札に参加する業者の数及び市内の業者の有無等について分科会で審議されたのか。

総務文教分科会委員長 それらのことについては、質疑も当局の説明もありませんでした。

委員 市内の業者がいない場合は、地元の人を採用する要件を付すべき、また、前に予定価格の60%台で落札したことも問題になっている。これらは議案を審査する上で極めて重要であり、市教委の見解を示されるように予算特別委員長に求めたい。

予算特別委員長 これまでの経過があるので、今回は分科会委員長報告についてのみ質疑とし、今後については議会運営委員会等で改めて検討します。

12月定例会の提出議案と採決結果

議案番号	議案名等	採決結果
議第53号	寒河江市教育委員会委員の任命について 菅原大榮委員の任期満了に伴い、新たに鬼海瑞光氏を任命するもの	全会一致で同意
議第54号	寒河江市三泉財産区管理会財産区管理委員の選任について 委員の任期満了に伴い、委員選任について議会の同意を求めるもの	全会一致で同意
議第55号	寒河江市高松財産区管理会財産区管理委員の選任について 委員の任期満了に伴い、委員選任について議会の同意を求めるもの	全会一致で同意
議第56号	平成23年度寒河江市一般会計補正予算（第5号） 保育所耐震化事業費など2億3,229万7千円を追加するもの	全会一致で可決
議第57号	平成23年度寒河江市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号） 職員給与費の調整と管渠建設費で1,967万1千円を追加するもの	全会一致で可決
議第58号	平成23年度寒河江市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 医療費の増嵩に伴う保険給付費等2億3,969万7千円を追加するもの	全会一致で可決
議第59号	平成23年度寒河江市介護保険特別会計補正予算（第2号） 介護保険システム改修事業費等3,921万1千円を追加するもの	全会一致で可決
議第60号	寒河江市産業集積の形成及び活性化のための固定資産税課税免除条例及び寒河江市企業立地等の促進に関する固定資産税課税免除条例の一部改正について 東日本大震災で被災した企業等の本市への立地を促進し、事業継続を支援するため、所要の改正をするもの	全会一致で可決
議第61号	寒河江市総合福祉保健センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について 子育て支援センターの設置に伴い、既存施設を変更するため、所要の改正をするもの	全会一致で可決
議第62号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について 災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、災害弔慰金の支給範囲となる遺族の範囲に兄弟姉妹を加えるため、所要の改正をするもの	全会一致で可決
議第63号	寒河江市浄化槽等設置管理条例の制定について 市町村設置型の浄化槽等整備事業の実施に伴い、浄化槽等の設置及び管理などについて定める条例を制定するもの	全会一致で可決
議第64号	寒河江市浄化槽等整備事業分担金徴収条例の制定について 市町村設置型の浄化槽等整備事業の実施に伴い、浄化槽等の整備に係る分担金の徴収などについて定める条例を制定するもの	全会一致で可決
議第65号	寒河江市監査委員の選任について 欠員となった議選監査委員に、新たに那須稔議員を選任するもの	全会一致で同意
請願第7号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出に関する請願	全会一致で採択
請願第8号	暮らし・農業・地域を破壊するTPP（環太平洋連携協定）参加に反対する意見書の提出に関する請願	全会一致で採択
請願第9号	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出に関する請願	全会一致で採択
陳情第2号	看護師不足解消のため、看護師等の夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書の提出に関する陳情	全会一致で採択
議案第11号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	全会一致で可決
議案第12号	暮らし・農業・地域を破壊する恐れのあるTPP（環太平洋連携協定）参加に反対する意見書の提出について	全会一致で可決
議案第13号	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	全会一致で可決
議案第14号	看護師不足解消のため、看護師等の夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書の提出について	全会一致で可決

※請願、陳情の採択を受け、意見書提出に係る議案4件が可決され、各意見書は、市議会から直ちに関係省庁に送付しました。

賛否表

議案名	議員氏名等																	
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
第4回定例会																		
議第53号 寒河江市教育委員会委員の任命について	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	▲	○	

○は賛成 ●は反対 ▲は棄権 -は欠席

子育て支援について



新宮 征一 議員

- ①入所者が年々増加の傾向にある児童保育を子育て対策の中でどのように位置づけられているか。
- ②児童保育所の耐震対策をどのように考えているか。
- ③現在は公設民営の運営形態になっているが、指導員の身分保障の面などから見ても公設公営の移行を検討してはどうか。
- ④委託料の算定基礎となる人数換算は高学年2人で1人となっているが、1人は1人としてはどうか。
- 市長 ①振興計画の重点プロジェクトの中の子育て支援の重要な施策の一つと認識しております。
- ②施設の耐震診断や耐震済みの施設への移転等も視野に入れ、総合的に早急に検討してまいります。
- ③これまでも運営に支障をきたさないように支援をしており、指導員の勤務条件等の処遇を含め運営指針の充実を図っております。
- ④補助制度について、実態に対応しているか検証してまいります。

入札制度の現状と課題について

- 公共事業の入札結果をみると落札率が99・9%とか、100%などかなり高く、競争入札の目的である競争原理が機能しているかどうかなど、公正・公平性に疑問が出ている。①100%などの落札率は一般的には理解しにくいと思う感じているか。②一方測量設計業務では落札率が28%と法外なものもあり、品質保証や見積金額の積算に問題はないのかどうか。
- 財政課長 ①市及び建設事業者双方が、同様の土木積算システムを使用していることから、偶然、予定価格と同額の落札金額になったかと思っております。
- ②測量設計業務の入札に低入札が相次いだことから、設計金額の60%を下回った入札については、この金額で履行することの可否を契約審査委員会で審査して、契約を締結しております。

魅力ある学校づくりについて



沖津 一博 議員

- ①陵西中学校公開研究発表会での豊かなかわりの中で、自ら学ぶ生徒の育成、学び合いで深まる学習活動を通して、健康で心豊かなたくましい生徒、この字型機の配置、グループでの学習は大変良い取り組みと思います。是非他の小学校にも取り入れてみてはどうか。
- ②地域ボランティアの参画を得て学校教育を充実させるための学習を支援、補助してくれるゲストティーチャーを募り、長年培ってきた技術、知識、知恵を地域の子供たちのため、生きる力をつけるため、ゲストティーチャーでの魅力ある学校づくりをしてはどうか。
- ③世界の共通する計算機として、東南アジアを始め、アメリカ、ヨーロッパなど、世界48カ国が真剣に取り組んでいる、日本の伝統文化のそろばんを、もう一度見直し、子供たちのためにそろばんの時間を増やしてはどうか。
- 教育委員長 ①市内小中学校では、教育振興計画を受け、かわりの中で、学び合いを大切にした授業を進めています。陵西では、市教育委員会の委嘱を受け、質の高い学び合いを成立させるための学習形態の工夫や支援の在り方を研究してきました。研究の成果は、各学校の研究及び実践に生かしていくことが重要と考えています。
- ②寒河江市では、今年度から「さがえっこ育みアクションプラン」を推進する中で、学校支援地域本部事業を開始しました。先進地である宇都宮市の事例を参考としながら、学校・家庭・地域がより連携し、社会全体で「さがえっこ」を育んでいきたいと考えています。
- ③そろばんは、算数における計算の意味を視覚的にとらえることができる教材として価値があるものと認識しています。新学習指導要領では、従来の小三に加え、小四にそろばんの学習が加わり、時数も増えたので、これに基づいて指導を進めていきます。



平成24年度の寒河江市の観光について

後藤 健一郎 議員

大震災と原発事故の影響で、観光さくらんぼ園の来園者数や花咲かフェアINさがえの入場者数、大型バスの来場数が激減した。震災以前あるいはそれ以上の方に来て頂くため、前年までにとらわれなイメージ広告・イベントが必要だと思いが、前述の2つについてどのような取り組みをするのか。

市長 「さくらんぼの里寒河江」を全国に発信するため、東北、首都・関西圏でのさくらんぼの種吹き飛ばし大会・物産販売・観光PR等さくらんぼキャンペーンをさらに拡充し、花咲かフェアと一体となり、さくらんぼ祭りを開催してまいります。花咲かフェアは、来年10周年という節目の年の開催となり、環境にやさしいまちをアピールする新たな企画等を検討、実施したいと考えております。

寒河江市の再生可能エネルギー

への取り組みについて

本市において「再生可能エネルギー」の活用によるスマートコミュニティ

二テイの構築に関する調査」を実施することになった。

調査を実施する県内唯一の自治体である寒河江市こそが、他に先駆けて再生可能エネルギーに取り組んでいくべきではないか。また果樹剪定枝や間伐材、ナラ枯れ材等の木質バイオマスエネルギーによる、地域の活性化と雇用の創出を図るために、公共施設への薪ペレットボイラー導入や今以上の助成を行うべきではないか。

市長 今年度山形県が主体となり、寒河江市をモデル地区として調査が行われ、市は一体となつて協力・参加してまいります。この調査結果に基づき、次の段階として事業化を目指すことになり、好機をとらえて再生可能エネルギーの利用拡大に鋭意取り組んでまいります。また、公共施設への薪ペレットボイラー導入については、今年度中に策定する市役所地球温暖化防止実行計画を踏まえて、検討することになります。



防災対策について

阿部 清 議員

内川の排水処理について、西根地区の北側を流れる内川が最上川と寒河江川の合流地点に流れており、最上川が増水し内川の水位が2mを超すと逆流するため、排水門を閉めて建設会社の協力でその都度ポンプを取り付けて内川の水を最上川に排水しております。取り付けに時間がかかることや、管理者の安全のため、管理施設の設置について市長の所見を伺いたい。

市長 河川を管理する国土交通省では、排水機場の設置については被害の発生状況等、費用対効果を総合的に検討して整備していくこととしており、現時点では内川に排水機場を整備する予定はないようであります。農林水産省所管の事業では湛水防除事業で、排水ポンプや管理施設は設置できるようですが、事業費や維持管理等の条件があります。今後、それらを総合的に検討するとともに、国からも理解をいただくよう努力してまいります。

寒河江ダムの災害対策について

地球温暖化が深刻化しており、日本でも地震や大雨などによる想定外の災害が起きており、寒河江ダムが決壊すれば相当の被害が想定されます。本市の安全・安心なまちづくりと次世代を担う子々孫々の安全を願うためにも、ダムの安全性を確認するためにも、安全・地震・強度などの防災対策について市長の所見を伺いたい。

市長 寒河江ダムについては、M7.5相当の地震や100年確率の降雨に耐え得る設計となっており、極めて堅牢なロックフィルダムです。また、東北太平洋沖地震や岩手・宮城内陸地震での、他県のロックフィルダムへの安全性に影響を及ぼす報告はありませんでした。これらのことから、寒河江ダムがすぐに決壊するということは考えにくいことですが、ダムの耐震強度等の検証について、今後、国に強く働きかけてまいります。

防災について



工藤 吉雄 議員

市民生活に関わる今日的課題について



遠藤 智与子 議員

9月4日県・市合同総合防災訓練が実施された。種々の事故を想定した救助訓練。ライフライン確保実演を見学して心強く感じるのを覚えた。しかし、中高層建築物から逃げ遅れの方の救助ですが、二段階に梯子を架け替えながらの救助だった。本市に3、4階(高さ15m)以上の建物は何棟あつて消防基準ではどのようになっているか。自動伸縮型はしご車の必要があるのでは。西村山広域事務組合にこの種の消防車の配備を促す考えの有無を伺います。

市長 現在、寒河江市内には高さ15m以上の中高層建築物が32棟あります。消防庁の「消防力の整備指針」によりますと、このような中高層建築物が10棟以上ある場合には、はしご自動車を1台以上配備することが目安です。

実際の配備については、西村山広域行政事務組合において、費用の問題、現在の消防職員構成の下での運用等について、引き続き検討を行っている段階であります。

現時点での緊急時における対応は、はしご自動車を所有している近隣の消防本部に応援出動を要請するとともに、県の防災ヘリコプターの活用等も含めて対応することにしております。

次に、自主防災組織化への予算ですが、自主防災組織の設立を促すための予算については、積極的に配慮していく考えであり、できるだけ早く、組織率100%を目指してまいりたいと考えております。

①「市長はPPPへの参加反対の表明とそのため市民運動を」野田政権は、国民的な合意のないままPPPへの参加を表明した。農家だけでなく、消費や医療分野など市民にも大きな影響をもたらすことが明らかになっている。

佐藤市長も参加反対を明確にし、行動すべきと思うがいかがか。

放射能汚染は深刻だ。寒河江市でもきめ細かな測定結果の公表と、市民が希望すればいつでも使えるように貸し出し用の測定器をたくさん準備すべきと思うが見解は。

②「希望する保育所に誰でも入所できるように定数を弾力的に」

来年度の保育所入所希望者は全体で定数を100名以上超えている。特に、にしね保育所は1・5倍だ。早急に定数の見直しと施設整備に取り組んではどうか。また、耐震工事が来年度に実施されるが、軟弱地盤に立地している保育所の地盤対策も合せて行つてはどうか。

野や地域経済に大きな影響を及ぼすことから、国民に詳細な情報を開示し十分な議論を尽くし実効性のある諸施策を検討提示し、国民的な合意形成を図る必要があると考えております。なお、市民理解を深めるため、今後も情報収集に努め、市民に提供してまいります。

本市では、放射線の測定や検査を定期的に行い、市報やホームページで結果をお知らせしてまいります。また、測定器の市民貸し出しを12月5日から開始しましたが、今後の申込み状況に応じて適宜対応してまいります。

②弾力的な定数管理のもと、希望の保育所に入所できるように保育室の有効利用を図りながら、入所児童数を増員して要望に対応してまいります。施設整備については、今後の児童数の推移や民間施設との役割などを含め検討してまいります。にしね保育所については、建設に先立ち地盤調査を行い、その結果をもとに建築しております。

市長 ①PPPへの参加は産業分



イメージキャラクター
「チェリン」

①国史跡指定について
本市は新第5次振興計画を策定し、重点的に取り組む施策「重点プロジェクト」7項目を設定し、その一つに、慈恩寺「悠久の魅力」向上プロジェクトを掲げられました。平成25年度までに文化庁へ国史跡指定意見書を提出することであるが、どんな組織や調査が必要であり、どのような順序で進み、申請後に指定なるまでどれくらい時間がかかるのか。
また、指定になった後に、どんなメリットとデメリットがあるのか。

②その後の観光振興について
その後の観光客の誘客や観光振興にどのような成果が期待されるのか。また、どのような整備と景観計画が必要なのか伺います。



慈恩寺観光について

木村 寿太郎 議員

市長 観光地慈恩寺としての知名度がアップし、本市観光客の誘客促進に大きく寄与するとともに、村山圏域の広域観光の誘客にも大きく波及します。また、国の補助事業の選択肢も広がり、受け入れ態勢整備の取り組みも推進されるものと考えております。

教育委員長 大学教授などで構成する調査検討委員会、院や坊、城館址、仏像、慈恩寺修験などの調査を進めています。その後、史跡の範囲を確定し、地権者からの同意を得て、25年度を目標に、国へ意見書提出を提出します。提出後、指定までは1年ぐらいかかるものと考えています。メリットとして期待されるのは、慈恩寺の歴史的文化財としての価値がひときわ輝きを増すとともに、様々な国の補助事業に取り組みやすくなります。その一方で、指定区域内で現状を変更する場合には、一部制約されることがあります。



町会長の多忙と、なり手不足の解消について

川越 孝男 議員

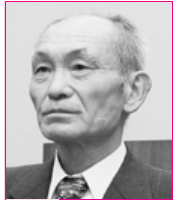
町会長の多くは、自治会長としての仕事と町会長設置規則に基づく町会長の職務の両方を果たさなければならぬ状況にある。町会によつては、地域の業務や市の事業、会議への参加要請も町会長に集中していることも多忙の原因です。それを解消するには、町会の中で任務分担することと市の事業や会議への参加を町会長に限定しないで要請することです。特に連合会長への負担を軽減すべきであり、閣議決定している各種審議会委員などの選出基準「最長10年、兼職は4つを限度」に基づき検証すること。また現状はどうなっているか。なり手不足については、自治組織、地域コミュニティの必要性、重要性が益々高まっている現在、「地域づくりは一人ひとりの地域住民が担う」という意識の醸成が必要です。このことを地域任せにするのではなく、地域と一体で取り組むことが行政の大きな役割だと思つて。見解を伺います。

市長 町会長の多忙を解消するには、町会の中での役割分担も必要かと思ひますし、また、市の会議や行事などへの出席・参加要請の際は、今後、できる限り町会長に限定しない要請をしなければならぬと考えております。

平成22年3月に策定した市行革指針前期アクションプランでは、審議会等委員について、特定の市民に集中することを避けるため、委員の負担解消と広く人材を確保する観点から、委員の多重兼任を抑制することとしております。

また、町会長連合会に対しましては、既に会長に限定しない要請を行っているものもありますが、今後とも、そのようにしてまいりたいと考えております。

地域づくりは市民一人ひとりが担うものであるということの基本とし、町会活動の重要性・効率的な運営について啓発広報を行うなど、町会運営のバックアップを図つてまいります。



人事政策（監査委員）について

佐藤 良一 議員

平成23年9月議会で平成22年度寒河江市一般会計決算はじめ8特別会計及び2企業会計を含み、11決算認定が付されたが、議会選出の監査委員が決算認定の採決で、一般会計決算、国民健康保険、老人保健、後期高齢者医療、介護保険の4特別会計など5会計決算の認定に反対でした。地方自治法第233条の第4項では、その意見書は監査委員の合議によるものと定めているが、両監査委員の合議で佐藤市長に「適正」との意見書を出している以上許されるものではないと思います。佐藤市長が選任した監査委員が認定に反対されたことは、議選の監査委員の「勘違い」などと許されるものではない。市長の見解をお聞きます。

市長 議員のうちから選任する監査委員は地方自治法において定められており、議会のご同意を得て選任しております。監査委員の業務は市の財務に関する事務の執行及び市の経営にかかる事業の管理などについて、法令等に基づき適正に行われているか、また、組織や行政運営が合理的かつ効率的に行われているか、という観点から公正で独立した立場で監査を行うことですが、議会選出の監査委員には、適切に監査業務を執行していただきたと認識しております。上程された議案に対する賛否は、議員の職責に基づく行動であり、私が言及すべきことではないと考えておりますが、今回辞任されたことについては、選任をした者として重く受け止めております。年度途中の辞任であり、滞りなく監査業務が執行できるよう議会のご協力をいただき、後任の監査委員を早急に選任することが私の責務であると考えております。



配水管整備計画のない地域の対応策について

内藤 明 議員

下水道計画区域外の地域に新たに市設置型の合併浄化槽の整備計画が示された。

ところで先般、平塩と中郷地区の一部は既設の排水溝に流すことで土地改良区のを承を得ており、配水管の整備計画がない旨の説明がなされた。

平塩地区のこの排水溝は、流れが悪く、夏場は悪臭や蚊などの発生源となり、以前から整備改修等の要望が出されていたが、下水道が敷設されれば二重投資になるとして、長年見送りにされ、地域住民は難儀をしてきた経緯がある。

合併浄化槽で処理された排水といえども、既設の排水溝には雨水も入り、澱めば同じような現象が生じる。そうした地域には同時並行して排水路の整備を急ぐ必要があると考えるが、見解を求めます。

また地元にとって、より良い方法を講ずることで、市当局、改良区、地元の三者で、さらに協議すべきと思うが、見解を伺いたい。

市長 「寒河江市浄化槽排水管理整備計画」では、「寒河江市浄化槽整備事業」を実施するうえで、用排水分離がなされていない区域については、水路管理者からの放流先同意が得られないなど、放流先が無く、事実上浄化槽の設置ができない状況にあります。

こうした状況に対応し、処理水の放流先が無い区域を無くすことにより、対象地区民が等しく浄化槽整備事業の恩恵を得られることを目的に、配水管整備を行おうとするものです。

ご質問の排水路は、平塩集落内から流出する雑排水の受水路として「農業集落排水施設整備」により、昭和60年度から平成3年度までに行われた事業であります。

今後、平塩地区の排水路をはじめ、同じ状況下にある排水路の現状を把握しながら、改修の方向で鋭意検討してまいりたいと考えております。



徴税策について

荒木春吉 議員

11月12日に新第5次振興計画の実施計画（平成24～26年）説明会がありました。憲法第26、30条には国民の義務として納税と教育を受けさせる規定がされています。

北風と太陽の二刀流で徴収率向上に努めれば、市民幸福度のアップは確実です。本市財政の基本は「歳入を図って歳出を制す」にあります。市の徴税策について以下の2点について伺います。①未滞納者の現況について②それ等への対応策について

市長 ①平成22年度の市税の収納率は92・81%で、県内13市で第2位に位置しています。一方、今年度11月時点の収納状況では、前年同期と比較し若干の増となっております。②滞納者への対応については、納税相談の充実、滞納整理の促進、自主納付の推進の3点を重点におき実施しています。今後については、コールセンターの導入を予定するとともに、タイヤロックの導入なども検討しています。

教科書採択について

現在沖縄県八重山地区の中学校教科書の採択を巡って混乱が続いています。問題は広域採択が原則の教科書無償措置法と、採択権は各市町村教委に在りとする地方教育行政法の2法並存です。来春から新学習指導要領が始まります。採択する教科書は既に決まっています。以下2点について伺います。

①採択会議の開催数について
②同会議の詳細について

教育委員長 ①来年度からの中学校用教科書採択のために、西村山教科用図書採択協議会を2回開催しました。②協議会は、1市4町の教育委員長及び教育長に保護者代表を加えた15名で構成されています。会議では、教科ごとに研究員を委嘱し、その報告を受けるとともに、各学校や一般公開の際に寄せられた意見をもとに、十分な議論を行い、各教育委員会の合意のもとに採択を行っています。

韓国・安東市を表敬訪問

「寒河江市国際交流協会」発足記念として、10月3日から7日までの姉妹都市大韓民国安東市訪問交流事業に、高橋議長が参加しました。姉妹都市安東市を表敬訪問し、韓国の歴史と文化に触れながら、安東市長・議長はじめ安東市議会の皆さんや市民との友好を深めてきました。



議会基本条例 パブリックコメント・意見交換会

寒河江市議会では、「議会基本条例」の制定に向けて、策定委員会を設置して検討を行っております。

策定委員会においてまとめました要綱案については、今後、市のホームページへの掲載や全戸配布を行ない、多くの皆様からご意見をいただき、条例に反映させていただくため、ファックス、メール、郵送等によるパブリックコメントの募集と意見交換会の実施を予定しております。

なお、詳しい日程等につきましては、後日全戸配布の文書にてお知らせいたします。

議会日誌

(10月21日～1月20日)

21日	10月	定例議員懇談会
25日		会派代表者会議
26日		東北市議会議長会事務局職員研修
27日		兵庫県たつの市議会行政視察団来寒
31日	11月	県・市町村行政懇談会
1日		議会報研修会
2日		農業委員とのスポーツ交流会
10日		会派代表者会議
11日		全国市議会議長会評議員会
14日		会派代表者会議
14日		新政クラブ行政視察
16日		山形県市議会議長会定期総会
16日		山形県市議会議長会定期総会
18日		新清・公明クラブ行政視察
18日		地方財政講演会
21日		定例議員懇談会、議会基本条例策定研修会、議会基本条例策定委員会、会派代表者会議
24日		全員協議会、会派代表者会議
28日		県知事・県議会議長への実行運動
30日		議会運営委員会、常任委員長会議
1日	12月	議会基本条例策定委員会
5日		会派代表者会議
5日		会派代表者会議
8日		会派代表者会議
9日		会派代表者会議
10日		会派代表者会議
12日		会派代表者会議
14日		全員協議会、議会運営委員会
15日		議会だより編集委員会
21日		議員懇談会、総務文教常任委員会・建設経済常任委員会意見交換会
22日		議会基本条例策定委員会
26日		厚生常任委員会意見交換会
10日	1月	議員懇談会、会派代表者会議
11日		議会だより編集委員会

常任委員会の行政視察報告

議会では、昨年9月から10月にかけて常任委員会ごとにテーマを定め、先進地の行政視察を行いました。その概要について報告します。

総務文教常任委員会

茨城県つくば市

新庁舎建設について

つくば市新庁舎は、平成22年3月に完成しました。建設費用77億円、鉄筋コンクリート造、免震構造、地上7階建、将来的に組織変更にも対応可能な自由度の高い設計です。特徴は、両端コアの形状、アースピットの活用、自然換気、ベランダへの植栽、複層ガラスの利用、太陽光発電システムの導入、緊急地震速報設備の設置、自家発電の設置等があります。東日本大震災時も殆ど庁舎の損傷はなかったそうです。



自治基本条例について

埼玉県三郷市

三郷市自治基本条例は、平成21年6月9日に制定され、ポイントとして3点あります。第1点は情報の共有で、市が市政やまちづくりの情報を提供し、市民がその情報に基づき、参加、交流、学びの場を支援するための三郷学講座を開講。第2点は参加で、まちづくりの主役は市民であるとして政策を立案、実施し参加しやすい市政運営を行う。第3点は協働で、市民と行政が対等の関係で協力しあう取組みです。自治基本条例のなかで、市民、議会、市長等の役割と関係を明確にしており、市民はまちづくりの主体、議会は市政の意思決定機関として市民の立場に立ち、開かれた議会の実現に努める。市長等は福祉向上のため、市民の視点で、公正かつ効率的な市政運営を行うとしています。

栃木県宇都宮市版「コミュニティスクール」について

栃木県宇都宮市

平成18年度から3カ年で、全小中学校に「魅力ある学校づくり地域協議会」を設置しました。市内に小中学校は68校、中学校は25校。地域の特性に合わせ学校、家庭、地域が協力しながら児童生徒を育む方法として実施されました。魅力ある学校づくり地域協議会は学校PTA、地域諸団体、企業の代表等で構成される組織で、教育委員会が設立までの手引きを作成し各団体へ直接訪問して協力を依頼しました。具体的な活動は「まちの先生」として、読み聞かせ、教科指導、書写、俳句の指導、ミシン裁縫、戦争体験、パソコン操作、英語指導等を行い、すべて無報酬で地域の教育の力、自分の生きがいのため、としてお願ひしています。心豊かでたくましい子どもを育むための支援活動です。

厚生常任委員会

山梨県韮崎市

韮崎市立病院の運営について

韮崎市立病院は病床数175床で内訳は一般病床141床、療養型病床18床、介護型病床16床で、寒河江市立病院に比べ50床ほど多い状況です。

医師・看護師の人員確保・離職防止対策として、土曜日外来休診、院内保育の設置、宿日手当等の見直し、育児短時間勤務制度の導入、認定看護師の育成支援、一次救急の開業医との連携を進めています。また、病床数の手直しとして、人員の適正配置、一般病床や療養病床の再編などに取組んでいます。

子育て支援事業について

埼玉県志木市

志木市の取り組みとして、古くなった保育所を建て替

える際に民設民営で保育所を増やしていました。又、埼玉県内で初の取り組みとして、国の子育て支援交付金を活用し、保育ママ・スティーションの設置を進めていました。その概要は、平成23年に開所、志木市の小学校の余裕教室を活用。入所可能人数12人、対象児童0歳〜2歳迄、保育時間8時30分〜17時（月〜土）、延長保育あり、保育料月額3万円（延長保育料別途）であり、業務方式はNPO法人への委託というものです。この取り組みは都市型であるものの、保育料の低さが良いということです。

埼玉県蕨市
蕨市立病院の運営に
ついで

蕨市立病院は、病床数130床、すべて一般病床で、常勤医師が13名です。費用コストの削減について、診療材料の統一化を21年度から実施しています。21年度及び22年度削減実績



として各年度2百万円以上の削減に成功しています。又、毎月「改善ニュース」を発行し光熱水費等の前月の使用量・金額をすべて職員に知らせ「ムダ取り運動」を実施し、効果を出しています。小さなことから職員一丸となつて改革に取り組んでいることが効果に繋がっており、経営も安定しています。

成功事例の一つですが、病院勤務職員が一丸となつて取り組む姿勢があり、ハード面ばかりでなく、ソフト面が充実していると感じました。

建設経済常任委員会

岐阜県揖斐川町
市町村設置型合併浄化槽
について

揖斐川町では厳しい財政事情により、全町集合処理から家が離れている地域は合併浄化槽による整備へと計画変更しました。受益者負担は基本料金に人数による加算で、この査定方法は、合併前の町村で採用され、事務の煩雑をなくし簡素化することなどを考慮し決定されました。このため、下水道、農業集落排水、個別排水処理のどの事業にも公平になるよう、同じ料金体系になっています。昨今は当初設置予定より若干減少しています。また個別排水処理区域内で、敷地内に合併浄化槽を設置できない箇所や排水先に苦慮する箇所など問題もあり、本市と共通する問題・課題もあるので、今後情報交換

なども行いながらより良いものにしていかなければならないと感じました。

岐阜県東部広域水道事務所
送水管を利用した小水力発電について

東部広域水道事務所にある釜戸小水力発電は、県営水道の標高差を利用して、上水道管の水圧で水車を回して発電するもので、岐阜県内初の試みです。発電量の20%を水道事務所で使用し、残りの80%は売電。発電により年間約285トンのCO₂の発生を抑えることができ、温室効果ガス排出削減にもなっています。発電機の耐用年



数は22年ですが、運転開始後15年で建設費の回収が見込まれています。発電機の音が大きいことや、高低差が必要など、のハードルがありました。

岐阜県川辺町
木質バイオマス発電
について

川辺バイオマス発電は、大豊製紙に電気と蒸気を提供する目的で稼働しました。利用する燃料はすべてが木質バイオマスで、建築廃材65%、生木35%となっています。このバイオマス発電の導入により、大豊製紙の重油使用量はほぼゼロとなり、化石燃料を使用しないクリーンエネルギー企業に生まれ変わりました。

バイオマス発電は①CO₂の排出削減、②廃棄物の削減、③クリーンな発電等利点が多いが、費用対効果を考えた場合、発電だけでは採算は取れないため、副産物をどう利用するかがポイントになると実感しました。

市民の声



若葉町

菊池 勝弘さん

人の一生を振り返るとま
ったく短く感じられます。
私も仕事、45年間勤め、
過ぎし日を懐かしく思っ
ております。今は趣味の詩吟
を楽しみに多くの人々と接
しております。

漢詩、陶潜の名作「人生
根蒂無^{こんてい}く飄^{ひょう}として陌上^{はくじょう}の塵

3月定例会の日程(予定)

3月	2日	本会議(議案上程、説明)
	6日	本会議(一般質問)
	8日	本会議(一般質問)
	9日	本会議(質疑)、予算特別委員会、 委員会・分科会(厚生)
	12日	各委員会・分科会(厚生、建経)
	13日	各委員会・分科会(厚生、建経、総文)
	14日	各委員会・分科会(建経、総文)
	15日	委員会・分科会(総文)
	21日	予算特別委員会、本会議(採決)

※いずれも9時30分から開会します。
※日程は変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局(86-2111)にお問合せ
ください。

議会の傍聴においでください

本会議を傍聴する際には、住所・氏
名を記入の上、議場にお入りください。
委員会の傍聴は、事前に議会事務
局にお申し出ください。

■3月定例会の請願・陳情の提出締め切り
は2月27日(月)正午までです。(予定)

おらがまち 紹介

白岩麓町会長

佐藤勝太郎さん

の如し」で始まる「雑詩」
の末四句に「盛年重ねて来
たらず、一日再び^{あした}晨^{あした}なり難^{がた}
し、時に及んで当に^{まさ}勉勵^{べんれい}す
べし、歲月は人を待たず」
この部分だけが格言として
人々に親しまれています。
しかし、本当は無常の人生
に対する感慨を詠ったもの
で、行樂すべき時はのがす
事なく行樂せよ、金石より
も人生を樂しむべきである、
というのが本意である。年
月は人を待つてはくれない。
さて今の世、一日一日を樂
しく悔いのない生き方をし
たいものと考えております。

我が町会は、白岩地区の
西側にあたり、背面には上
楯山が聳え、山頂に秋葉山
神社が祀られており、その
下には三日月不動尊が、更
に三島神社も建立されてい
る。これらの神社や不動堂
を祀り、維持管理している
のが「麓若者会」です。こ
の若者会には総会時に読み
上げる「掟」があります。
この掟は1811年(文化



8年)の作で、当時の生活
や社会上許し難い行為には
断固として対処するという
厳しいものです。

昨年(平成23年)が20
0年に当り記念誌を発行し
式典を行いました。

当地区では地形上、急傾
斜地対策が進んでおり、今
年度も引き続き工事がなさ
れ、又、既設上に伸びた立
木の伐採も行われました。
120世帯の安全・安心を
目指している町会です。

編集後記

迎春

昨年3月11日東日本大震
災から10カ月が過ぎました。
大震災にみまわれた東北の
一日も早い復興を願ってお
ります。

それに伴い、日本経済の
低迷化が喫緊の課題となっ
ている現状ですが、絆を深
め苦難を乗り越える年でも
あります。

12月定例会において大
震災で被災した企業等の本
市への立地を促進するため
の課税免除条例の制定や、
子育て支援センター整備事
業等の補正予算が計上され
ました。

市民が安心・安全に暮せ
る都市づくりを目指し、議
員一同頑張ります。そして
今年もよりよい議会だより
編集に努めてまいりますの
で、よろしくお願いたします。
(辻記)